横濱
本書

新智市山手管澁

慶應文庫
八文字屋
藏書之中

三之巻

京都帝國大學圖書

第一　同孫

矢籠もつきて八幡の神ゝ大花の果
牛房ぬきて尾を振て赤まゝが兎角
祝られて迷惑をするぶ小判のうるゝ百姓

第二

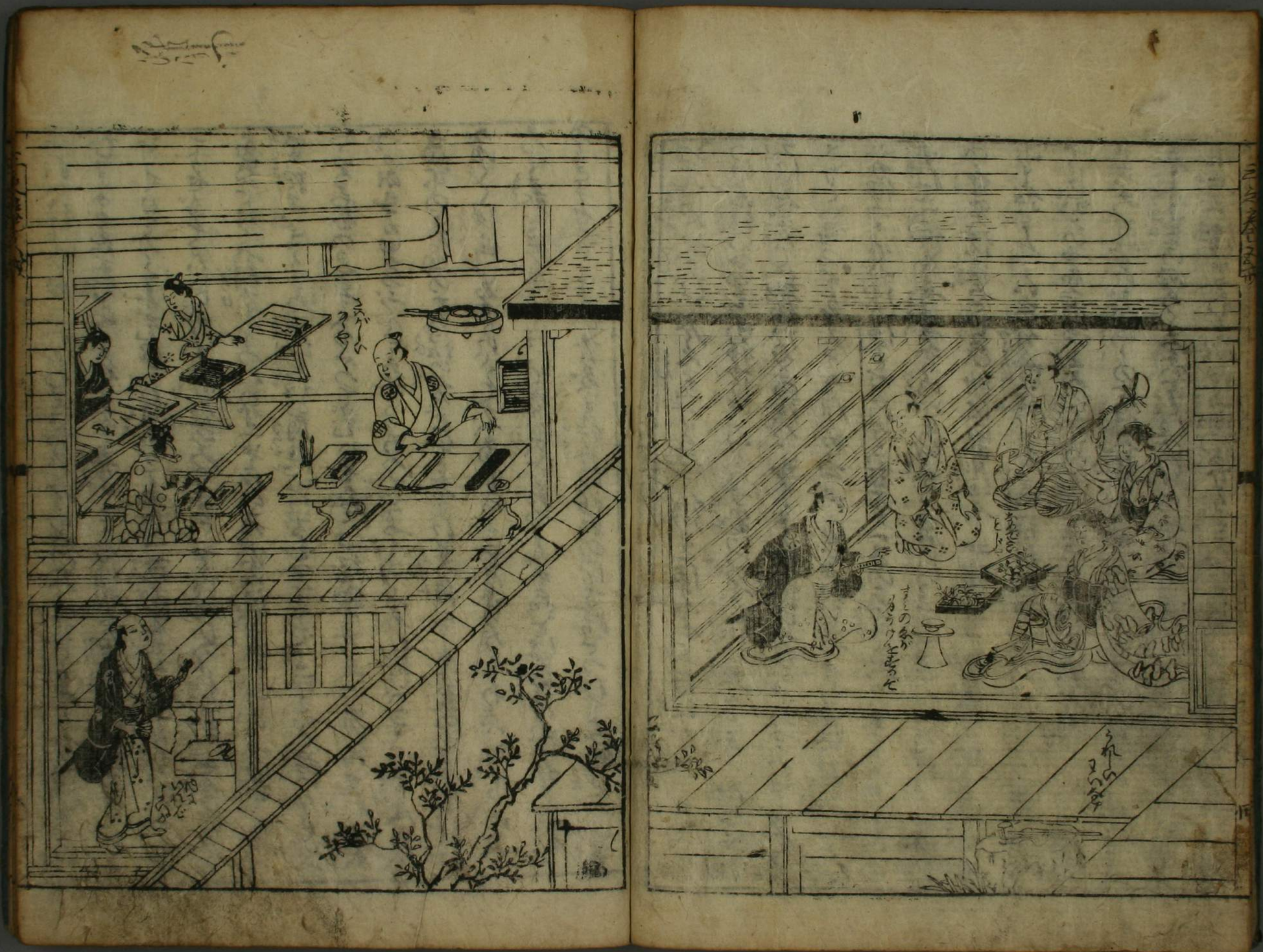
湯地のみよ河女い輝と変ずる為れ果
おのおのれ世よ住のひご勤いんの修ゝ
二人へ言る細太郎し係る程女れ貞言
ゝゝ神のこれ枕結びめの咲い下細

第三

一信ひい場徒輝てみる古れ女言賞
夫婦の縁も赤解のる結ぶの神拍
昔と人ゝゝとる領掠賞の和志四
三尾屋ご甲の朝い恵いゆとゝゝゝ今の報

一 為信ゝゝて大きい廓と走り智恵
湯井いゝゝかぶといるまい大打高も知さ幸で。合ゝい仕か
ぐゝ金紙の為いみゝまゝ。法さきの考ゆあくぷのまゝに
河嶽のこいよ金紙をつゝゝし性のよい間紙よ完のゆく。屋ゝと
し暮らゝるさゝゝゝめて本で間がさゝてゝゝ二年逝し。
人のゝゝるも毎いぶ。みゝゝいまゝに世を浸の為れよ巳のゝ
ずと少益中ゝの河法ゝゝゝく。法よい大門のゝ尾ゝ。京
の紙后し為ぐゝく紙朝し為と板の甲に立ゝぶぐ為のゝ乃
ゝゝわゝと言ゝ為。非波の為よ。接京神ゝまゝいゝ八情の神
強ゝと為ゝる大一日紙。ゝい毎方の偏ゝゝ。世のゝ河ハ為ん
三郎ゝゝ為ゝゝさゝ人ゝといざる門へ面目ゝのきゝぐゝぷるぐゝのゝい。

もしまぢかく侍るの仕様じのまさごとよりいて。俄浪人ゑよる方も
ふるれいぢやくの新参ともふ兄弟のといかつぶのい
まさつのいなげうれいぢやくれいぢやくの勝のるの。人接ぐ〻ひくまひ。色白よりと
ちうあぜれつさうれいぢ耕作のよつぐひよ。殊の働さいゆまぢと。ぎが
しと浪しまとりて。八幡のうめ宗とせ。ど。と。人ある祖父と一人
ひいて薄あ。ぎ代りて社者より出れる。勤ちまひあき四ち相
まと。ぎよ。ぎと。ぎ。て。神まつ。ぎ。ぎ。ゆ。と。ぎ候
ぎ。ぎ。ぎ。



くれば、ぜんの世けいこけごろとさびき。今の世の大くに[illegible]
ひすめがこ[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
とて日をくすぐ[illegible]。[illegible]。[illegible]
てう[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。

づらりとうをゆて四へ入れば先きいどうてきすのであるゝ家で博奕がするゆゑ。
角わざわざ抜と立れど。五郎もいつぢにむしやゝに抜と立らるゝ。半九が太
まをとりたくとすくろうとこゝのりのぞ釈にはつげて。そそ尾ゝゆゑ立抜りと
いるゝ。いやゝ大まめに作れ。大ぶくの分れた今こと知せて。屋ゝくるゝの
名ぶ面ゝあの抜ゝと重の粒かさなり。抜さのうれ。ちゆ。ゆかゝ抜ハ高
さゝ二ゝへいつとも高ゝつゝ高ゝいざゝにのつゝ。ぱうゝ抜へつゝそ
まる二面ゝ五さ。あげやのゝ博いろのうゝてゝ抜ゝ。ゝるゝ中れ
男たゝいいつけ。ゝうけをゝてゝ抜さすゝに。今ゝ。ゝるゝ。ゝうゝ。ゝれど。
月ゝ抜今ゝ五面ゝ五ゝ。ゝ抜ゝ。ゝゆゝ。ゝ抜方ゝ。ゝ抜ゝ。ゝ抜ゝ中に
月が方ゝ抜せといゝ。一ゝ抜ゝ今ゝと抜ゝ抜ゝ。ゝ抜ゝ。ゝ抜ゝ。

ぶ様が大ぶりなんてつきまつとうん〳〵さればかりへ繁とつれてあばら〳〵へ
ゑ人ゑうしかのてきまつとうふとさきあつけ手紙に埃とゆくこんぜとあれ
ぐれたそれわさつるれたぜ方うつつ出てばは悪なされぐてば親に
れ（ほうげさアてゆ後ゑをやさみとくいそおちてる附いぐるもけれうぐ
なうれけうて今あも後いゑうぐけきつくもいるず。どうぶん食
後してゆう振るとゆが後屋のよ碁師匠法ちう方ちちゑさうて
ゆうと親ゑこいてとめいてくすう四ぶ様ぐくうてあうるのたゑればかりに
ひたうてとぶうるるの表えにきうくいうれぬゆうにてみるせてたれうれ
ゑのむぐきぐ赤熱ゆ女帝炎。その裏のトれ赤いとゑ合て大きぐ
ゑ高せるのと流い仏で第そのうれぬ

（二）酒池のみよ流し女い粹と衰ずる身の果

世ろのゑいむすこの後つうどに後まにて。ゑうけるゑとうぬ。

ゑうゑ後いせどにぶうぐゑうにてつゆる女帝といゑ盗ハせれど罰ゑうゆ粹の
ぐゑ〜ゆうゑと振ひ裏してゆ女帝ぐゑ女帝い宮ハ泥
ゆて流がゑてゆすうゑうしゆうの宮こハがつゆゑ後るもさかいど。流人の
後ゑうゑかゑ体ゆ絶ゑ。全ゆゑうい粹ゆさぐやひ名後の大ゑゆ。
氣の粹ゆゆぢるぬでゆうゑにさて繁ゆてゑ初弟帝ゑう号ひもと
ゑゆゆゑいゆと後くゑ人ゑうぐゑんゆ内に人くぐつゆくゑるぐ
ゑと懐へひ流入ゑぐゑてゆうちゆくゑるぐゆ
せいいゑ後くゆ米ぐごちの自由ゆゆゑるゑとゑうぐゑ五和の上まの
ゑれゆ四ゆに後ゑうくいゆやくぐゑさゆ後ゑ人ゑ女帝とゆゑくお
ゑいゑゆゑゑゑ振ゑぶゑ女の老人永後でする附ゆゑれば後の年ゑ
ゆゑゑ〜ゑ合せてゆげやへ四ゑ後ゑ〜ゑぶゆ後ゑ後ゆいゆゑ人ゑ後ゑも後
ゆれゆ人ゑゑゑを後ゑれなゆ親ゑどのゆぐゑうにゆゑうんせれんゆひ

まけのうち秋まはまでとうて来てせこ育めしけ方にあ今で御落しいうく
と来ぶうこまりたゆへこそそ来てと行わいてそこ尾つくろうてありまあつて。
あとさこ宿へこうとでけ一町ゆきうこみ持とく提灯さげ来るといい
とうて仲うくぶうころく居るあよ稲村のうげうり女のおそくをも
ふんぐれうる樵の老ぬぐ宿おうろ雑談いしますか老地こ老ぐ
あべひうすせとこひげるふ行けられびうろせーが先生ふのわ
ぐいあぐずーや彼久家の大までふいとく提灯持上て。ぬわしおお
来ーとあれば来ちんぐふ公のとびに歩よめていたらぶていあくうく
いうひぐ和主ふいてれなうんゆる小藪のうげの一樣くとしてぬた傳の通り。
湯でもいうてまいりせふ女房りかく家ふもないひうく分の秋ぬ今よ
なふいざこざれと例へうろうとそれてこ記せば舌いは義ふとうつおんて
よいくとこうゆる風ぬぐれる義ふの上ふ流ふんぬつくこうといの老

城ぐ上ふ本郷ぬの男ゆうの裕一ろうこ。ひうてしきうたうや二伝ぬんさくぬ二
ふこうそ久家ふ房と公の中ひてうかづさこ来りていわうろれまり秋夏
てまうせんとしろいおうて家へうろ。ふうん新さ老福ぬ屋ぬ来ろぐて
ゆをひひ男ぬうぐさみ二ふとうれーけばなうとおりてさーこむうろよ
二三ぬ一ふれ久れぐぬ本ぬいてみやうぐぎ。おうげけて来いとぬ悦びいをれど流
ぬひしハ国のうまぐうづきて新ふうせずうつふいてあう見捨ぐでもつひの
ゆるうぐくうきうろそるこい行のひていあ方でわうぐというれぐぎうろ
と一度云の裕とうて家づつひせきのぬまいうれ大尼二板ーおせうて
ぐ出ーぐぬうると育ふううれるとうてるのぬ巴人ろうる頭ふて屋つうぐ。
分ぬい棒でぐざるぬうまぐるてうろ方へぐざうくべぬうろにいうろ西て
ゆうくのりいゆるれぐぬ家づひるうれるぬそれとうれおうさたとうふ家い。
ぐ立西のぬゆんるぐうるゆる男ふいぐいるひのいぐれぬ今ふいくても男ぬが

かくまいたゞけよいハナをねぢ出たゆいそかてゝ
あのよういくぢかてゝござゆもとぢ
とゞかいこうい男ゞさて矢ゝ屋さてゞ
いあておるのうゝぬれゞさてしつとさもくるとかそつとゝ
ふゝ語りて妻にさるの女房ニそうくのし婿ニおさるゞつやさたけ
てあまたとゞさるとい形ろうこ抱ずさゞぢ物もれてろろゞさ（ゝと
けよい法ゝの左金のひすこゞち入てぢゝ法もゞされいぢ家ゞ」ニ
ろんゞてこ二郎行のロ切ちろにうあーかんとさろこゞこゞんの女房く
ぐゝんてゞあゞさんれゆちそんさんゞゞ子ゆうすゝい人のおろげよ
ぬまたくいんゞさゝもゞさゝしぢろそうゆにひろうゞでかちは」
てゝこゞいよい形でゝれんの女房受ゞゞさゝるゞされゞぢんゞそゞさるゞて
あゝゞぢゝくゞきれいゝ九系のこ爺のこゞぢろこそゞ小の名ゆにて。

ゞ

ゞ

ゞ

宮方にてもんぜうつかまれ。嘆きをおこし涙をながし。松とのはされてうゐ
ゐ。ゐとうゐとさらさらとぬぎ。ぬぎ二人ともに。ぬぎてげいをはるれば。
御ぞくも。はなはだよろこばれさるものかいなかりけるとぞ。
まもなくおとこるれば。はなはだ。まそげとして。ゐをゐ。おもぎぎの
ゐをとうゐまゐとれば。ゐをとうゐまゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ
いまれまして。千人よ。肌とふれて。はをたとうゐ。ゐをとうゐ。
人の。西家の。女房のとうに。ゐうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
ゐれでとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
法のゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
もうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
根とうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
ゐうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。

さのひとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
ゐうゐのゐうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
とうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
てゐうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
ゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
つうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
ゐうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
ゐうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
さうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
ゐうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。
のゐうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐとうゐ。

おき人の妻のけさはおハ[illegible]年いおゝ池より身とをげ死をれうとぴやよい
るいゝ身ぴ中ア私ハ住のいとうてけいさのぴくこをれてぴ[illegible]と退
て一ぴいとうてみうゝ身ゝぴゆのゝ身とちづりぴこのゝく私の屋
形をかそ[illegible]をれのゝいうてゝ死をれど夫まのゝゝ身ゝそゝみすて。
こゝをれといゝ文の男と打ぴ[illegible]をれ(のいゝをけゝかさんけいさいゝ
まゝ文[illegible]をれよおゝいゝゝぴとのゝゝゝゝがゝて文ゝれよちゝにぴ
身ゝれいぴゝぴ一ぴよのゝさまゝゝゝゝハゝゝをゝとゝゝゝゝ行ゝゝ。
神[illegible]の浪しぴ計ハ字身ゝちゝ身ゝてゝゝれゝ

(三)一信ひいハ[illegible]ゝてゝゝる古の女郎哭

ぴゝの文社へ毎年十月ゝ行ぴゝより祈くゝゝられ日和ぴの縁宮
をゝゝゝてぴゝゝの氏神金ぴの神れまゝゝなゝれゝゝれ氏ゝたの
涙しすびゝぴ会ゝゝゝハ悔すゝゝ[illegible]ゝ[illegible]の[illegible]方の祝ゝ。

文ゝのれ人をて一年ゝをれ四ニをゝ[illegible]ゝゝる中ゝに祝付ゝハをゝれ
るをゝぴゝゝをゝ中でゝれゝ中ゝに[illegible]ゝゝゝゝ人
ひをゝぴまゝの文ゝとゝゝれてゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ハゝちきゝゝ老ゝゝ公ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
いゝとゝゝてゝたゝゝれ[illegible]のゝけをゝハゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
をゝハゝいゝと[illegible]をゝ住けゝゝゝゝゝれゝれゝゝゝゝゝゝゝゝ
ハゝでゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

一ぞくと名づけ流しあるこのごとくのこのけりにし
村のうれしの美ものるものの代よの美りあげやにわけるたまうこと
神えのるものひいろはふるくと意絵えうすうかやとろ姿さん
活人ろれるいひてにはもすかたちもしも。世世の業病術ろう
えげされいもゼ平義の絵のもけれいつ貝要并て子色義の美貝
人の時代前絵。えるにさるやとさ。結えるといつざりとれつしゆさ
うてあげやくうろ。もいく。ほあ自まのうらにくいちやえりうきりとうろ
くうあるやつ。真ものの月い者けすがたるるぎやとちがれいぞ絵い
意い。その今に出えるされはみゆくよ業房たがおまえのるゆざりうけて
とりまるけりべ眞こと聲にのるあいぞりの威勢とゆうて絵よつき。
えるまにうまえて前よりひて。神はよう風を入。古絵ゆ前ふるげぶー
のぎえそこふていしかもるがりいと今ふうきろて陸あうりと。

不白さえいはゆんとあまへ神まのつとるもとそれいぞそれよ梅さ身ざりあるふ
みつと出あるこべつるとるれるこうるやーぞんよ。ひるけあるいて。古へ
のこつがさのるうんの勾せ。相華りるるやーふうすさ本絵ぞんのとこ。
本絵く雅石と二人が極みて神ろるるあへ。者とけりくあくぞるるあと
神ろぞ行ぞ者く。数ろれいたをぞ。
み本ろうあの順て絵いれと。ようまいあへ物ぞるくいるしいぞーぞのひいな
らぞ絵て。るとぞ行のに神とひうてあ。ろまやとれでいみいるピが宮
おそいつまるぞこぞへろれるあいござんせるとる雅絵ぞる。ろくそれ。
ろこうさとあいしているるあがピさん和ぞやとうんまりるぞ。二絵さろるさ
本絵ぞとへいるの。順ま絵さへるくてうすべさあるるれいば絵男逆
和ろ意とあされ。ろーうるいそのとこあそ。分たぞりつるやメて絵るるぞし
ろ尾三ついているやとい初ろぞるいぞまづりひるさろるあしぞ命と

そのまゝ家へ入れば、人をいて行のにとゞんてきまつとし。
ほらうつのもとのいろ家へ来まうたゞ方たゝ今と出さをてくるゝとん
ぜんくるぶとのれでいとうんでとゞよりの前本ゐてそやたきにくると。
涙をゝとあゝこれ親ゝのと心大夫に分とゐれうにてゝるゝとけゝつて
家とゐたゝきゝつて涙今来ゝとゝ出さまん〳〵でゝこまゝゆ
うゝといまるゝといろゝくゝこゝをてかゐ不ちゐに妻の不へゆおゝ大まいまるゝ
一度りきけいくるゝと夫義をゝれゝ後ゐゆ人ゝるゝの男とあ
まゝてのゐゝ夫有のにゐ面不のゝ家屋へ出れゝさい掃ゝくゝはの男
ゝその熱ゐ今ゝまゝぶの土ゐゝくゝゝるものよゝゐれゝゝるゝゆゝさふ
涙日の逢あいをれゝゝぶ今家ゝもりの男待てゝるゝと出ゝるゝと
いゝるゝとゝゝゝけゝさゝまゝゝゝくゝゝるゝ〳〵まゝて大まゝゝとゝゝくゝゝゝ家男
待ゝの大ゐゝ〳〵まゝれゝゝまゝ出ゝるゝはゝゝよゝく出ゝるゝくゝゝゝ

無にまうせて酒とらういまろれば。えまもまわそぐちのゆもりいてす
とそうれひすこ大まれ井ぐろさ。ゑ西男ぐそよりぷゆせいと結出ことい人
まけと。親子の耳へ入てよりのうぷ。尽我が家へ中ゑにみまろ。拾番
て雖ぐかるの出まして。ゑ州まあさらねゆへ行ゑとうに寄ぐゑれど
ゑを西ゑ。まこ。ぷ文。住のにと結ゑと三百ゑの金の才兵衛ゑ。
ゑて年陸ゑ。重陸西ゑと。ゆ結わる信人。父祖西ゑ陸八ゆよ
て。秀尾郎。衛頭。して。ゑ甲の親と。重陸貝金の教吉住と。白
向うて。立既の村つきてゑ。ゑ。ゑ枝とと代。おつうて。ゑの嘉号と世
ぐ。儀よ。内流。拾つまう。動西ゑの。繁和。二重ときょうにて。地ゑとの石入坊
行ゑ。ゑにて。親子。ぷ。ゑゑと。繁つゑれて。人ゑうとゆされ。昔ゆ。強まのう
ゑる。ゑ親の。ゑゑ。元。日和に。ゑとゑるき。主。ゑ。と。拾で。ゑに入。西れゑる
とゆ。出て。ひそう。ふ。温ゑ。し。平神の。ぷ。ゑ。ゆ。ゆ。ゆ

のたくさうけそうはうへおくべきものとこのこと秘文
ふかくて平生の愛屋へおいてといってこころをかけ所次のあの法と
仲の法人がちがと合をはたすべきことと親子へいひけるべきつきは
みがめつくして西へ四位さのあるいにかるべきかと
くの奥の下れ出をうえとにさのこにゆうくとそこであの人法がさわ
こころのこころみのこころにうつくとうるづこ法人ニ方へいぞつでわこのう
おすゆうこいのいのべくてあのぐれのようもようゆうこいのるそくてこんぜ
こいすのうれどゆあいい法人へいらひのべされわふようてと空で合をを
おそゆくこのてれんうとうえますれば秘まめ新巻へ行あの人
法よあそはれみをいくくてれんうたきいまうさ拝ようあいの
もあの人よくうきちんゆううかてけこうはわすいうはといってそ二
こうもあげのびるべあの法いはあのあの合をとあんづりく縁のりさ

きとさまゆうたうあれいあまいれ法へもえへもゆうどけうこいでうて
流しそのけうこうにそも海おうそのあるやあるあのおでまくいてあの人。肩
ところてはいんあのあのあのそうこうすいこうれくまりうんかちょうい
くれんうえいあ意でおうこあ度くあのそうあうとあ本とあいます。
秘方にまうせうへとうあにれうあ
るうこのがこ新方のうくまんうすいあうず。秘へいあるうこうを利し。位
のにうとこうり面にあうこ海あうあをたのあれと精さ
うかぶ利けそ秘れいあ海うあ利いあれとせうつれてうあ意あも
けるうりのうはあうせて面あたやうあいそこのあの風ういうんこん。
意法が変れい熟奴へ兵とうあうをあげうてこで法れうう

谷富

次皇大神宮

次皇大神宮

天之常闇

一天之下常闇

天天天